

2022年  
11月01日  
第1号

# ほくとぴあ

第28回全国交流集会  
東京現地実行委員会ニュース  
発行責任者 奥山 信義  
編集責任者 千葉愛一郎

## —東京現地実行委員会挨拶 実行委員長 奥山信義—



全国のまなぶの仲間の皆さんお久しぶりです、お元気ですか。  
コロナ感染拡大の状況下、第25回、第26回、第27回全国交流集会は断念せざるをえませんでした。「今回こそは」の決意も新たに、8月東京現地実行委員会が発足いたしました。

第28回全国交流集会は、従来の開催要項を大幅に変更しての開催となります。コロナ感染の収束はいまだ見通せませんが、10月10日に第43回東京女性講座を『北とぴあ』会場にて53名の参加で成功裏に終えることができました。11月には県協連総会／労大総会が3年ぶりに東京で開催予定です。新自由主義下の厳しい情勢ですが、総会議案には全国の仲間の奮闘が多く報告されています。大衆学習運動の力で情勢を変えていきましょう！

来年5月『北とぴあ』会場で、全国の仲間をお待ちしています。

## 第28回全国交流集会 開催要項

とき：2023年6月10日（土）13時～19時予定

ところ：東京都北区「北とぴあ」15階 ペガサスホール

北区王子1丁目11-1 JR王子駅北口より徒歩3分

参加費：未定

### 【東京現地実行委員会体制】

- ◎実行委員長：奥山 信義（東京県協連会長）
- ◎副実行委員長：福田 健二（東京西部県協会長）
- ◎ 々々：千葉愛一郎（東京南部県協会長）
- ◎ 々々：中村 久子（東京中部県協会長）
- ◎事務局長：高井 豊治（東京西部県協専従）
- ◎事務局次長：佐久間和俊（東京東部県協会長）
- ◎ 々々：檜崎 文雄（東京三多摩県協会長）
- 実行委員：島田 実（東京東部県協事務局長）
- 実行委員：田口勝義（東京西部県協事務局長）
- 実行委員：小泉勝久（東京南部県協事務局長）
- 実行委員：宮田光市（東京北部県協事務局長）
- 実行委員：古城育子（東京中部県協事務局長）
- 実行委員：渡部昌弘（東京三多摩県協事務局長）
- 実行委員：芳賀芳美（県協連・編集運営委員）
- 実行委員：高原康子（県協連・女性運営委員）

### 【実行委員会 任務分担】

- ◎統括責任者：奥山東京県協連会長
- ◆涉外担当：高井専従、高原北区在住
- ◆財政担当：檜崎文雄
- ◆ニュース班：現地実行委員会ニュース  
作成＝11月、1月、3月、5月、  
◎千葉愛一郎、○福田 健二、  
●島田 実、●宮田 光市、  
●古城 育子、●渡部 昌弘、  
●芳賀 芳美、
- ◆機動班：会場案内、会場設営、配布物、感染対策など  
◎佐久間和俊、○中村 久子  
●島田 実、●田口 勝義、  
●小泉 勝久、●宮田 光市、  
●古城 育子、●渡部 昌弘、

## JR王子駅北口徒歩3分にそびえ立つ

「北とぴあ」は、北区の産業発展と区民の文化水準



の高揚を目的として建設された北区のシンボルです。

また、最上階の17階は展望ロビーとなっており、北区の景色を一望することができます。

15階に「ペガサスホール」があります。正面玄関から入り、左手にエレベーターがあります。

### [会場案内図]



### [ペガサスホール] (北とぴあ 15階)



★ 舞台は、可動式です。

幅 3.6m / 奥行 2.4m / ステージ高 0.3m

★ 長机に椅子3個で、120名を予定している。

### 〈題字〉 ほくとぴあ の由来

「ほくとぴあ」に集おう

「ほくとぴあ」の「とぴあ」とは「郷・さと」という意味です。全国交流集会の会場が「北とぴあ」でもあり、その意味の「さと」で集うように充実した交流をと願い、現地ニュースの名前をひらがなで「ほくとぴあ」としました。

3年間、新型コロナで全国交流集会が開催できず、ブロック内でも交流がままならない事もあり、忸怩たる思いがありました。その中でも各县協では、オンライン(リモート)等を駆使して仲間と共に進み、討論を継続してきました。

2023年は、どんな年になっているのでしょうか。心も体も「とぴあ=さと」での交流によって、次への「力」としていくことを願い、東京ブロックは現地実行委員会として進めていきます。

★JR王子駅北口より徒歩3分

★地下鉄南北線 王子駅5番出口直結

★都電荒川線 王子駅前駅より徒歩5分

眺望も最高!!



★ 15階 EV を出ると「ホワイエ」(10m×10m)があり、受付と展示物などに活用します。

全国の仲間をお待ちしています

